

平成25年度博物館施設評価シート

施設名 さきたま史跡の博物館

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	A
目標値の達成度(80%~99%)	B
目標値の達成度(80%未満)	C

数値化共通項目(全館共通)

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	利用状況	入館者	一日あたりの平均入館者数	344	人	A	337人×102% 開館日数:313日 総入館者数:111,005人	
				354	人			
2	利用状況	常設展観覧者	一日あたりの平均観覧者数	344	人	A	337人×102% 開館日数:313日 総観覧者数:111,005人	
				354	人			
3	利用状況	情報提供サービス	年間レファレンス対応件数	741	件	C	533件×139%	
				487	件			
4	利用状況	インターネットの活用	年間HPアクセス件数	457,663	件	A	226,566件×202% 更新131回	
				565,141	件			
5	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数	165	件	A	125件×132% 掲載件数72件	
				273	件			
6	効率的運営	経営努力	観覧料および事業等収入額	9,839,000	円	A	当該年度予算計上額 観覧料+その他(6,947,240+3,280,000)	
				10,227,240	円			

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

必須項目(全館共通)

	視点	項目	指標	実施目標		評価	実施目標の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	資料の収集・保管	資料の収集	収集方針に基づいた継続的な収集事業の実施	12	件	A	別紙チェックリストによる	
				11	件			
2	資料の収集・保管	資料の保存・管理	適切な保存・管理の実施	17	件	A	別紙チェックリストによる	
				16	件			
3	展示・教育普及	資料の活用	展示・公開・貸出等での資料活用状況	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				9	件			
4	展示・教育普及	常設展示	来館者に配慮した展示運営	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				10	件			
5	展示・教育普及	学習支援事業	参加者に配慮した事業運営	9	件	A	別紙チェックリストによる	
				9	件			
6	連携・協働	県民との連携・協働	連携・協働の実施状況	7	件	A	別紙チェックリストによる	
				7	件			
7	調査研究	調査研究活動	活動状況および成果の公開状況	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				10	件			
8	施設・アメニティー	快適空間の提供	施設・設備の改善状況	13	件	A	別紙チェックリストによる	
				13	件			
9	施設の活用	施設の利活用	施設の利活用状況	6	件	A	別紙チェックリストによる	
				6	件			

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

館別独自項目

	視点	項目	指標	実施目標		評価	実施目標の設定根拠
				達成度			特記事項
1	史跡整備	史跡整備事業の実施と活用	国史跡整備の実施状況	10	件	A	別紙チェックリストによる
				10	件		
2	古墳公園空間の提供	拡張区公園整備と利・活用	古墳公園としての実施状況	5	件	A	別紙チェックリストによる
				5	件		
3	考古資料を活用した体験プログラムの提供	考古体験事業の実施	機能や特色を生かした体験プログラムの実施状況	6	件	A	別紙チェックリストによる
				6	件		
4	魅力ある展示事業	企画展示事業の実施	各時代の考古学をテーマとした企画展の実施状況	7	件	A	別紙チェックリストによる
				7	件		

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「古代の豪族－將軍山古墳とその時代－」の開催(9/21～11/17)</li> <li>・双子山・鉄砲山古墳の発掘調査・整備、奥の山・鉄砲山古墳の整理報告書刊行</li> <li>・出前授業「なるほど！古墳時代」の実施</li> <li>・学芸員の見える化(ホームページでの職員紹介, 学芸員による展示解説)</li> <li>・文化芸術振興費補助金「楽しく学ぶ考古学」の実施(さきたま魅力アップ実行委員会)</li> </ul>
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者は、前年度比で3%減少したが、観覧料等収入は14%増加した。入館者は、4月は減であったが、5月から増加に転じその後順調に推移したものの、天候の影響を受けた2～3月期に大きく落ち込んだ。「楽しく学ぶ考古学」事業の実施により、埼玉古墳群や博物館についての情報発信ができた。観覧料等収入の増加は、65歳以上が有料化されたことによるもので、料金が低額であることから、入館者の減少につながるような影響はなかったと言える。</li> <li>・5～7・3月にかけて出張事業「なるほど！さきたま古墳群」を11校の小学校で実施した。学芸員と教員籍の職員が2人1組で学校へ出向き、古墳からの出土品を教材に授業を行うもので、大変好評であった。また、教員研修を受け入れたり、地元の小学校に案内チラシを配布するなど、学校団体の誘致に積極的に取り組んだ。</li> <li>・県立熊谷図書館との共同企画「古代の豪族」や総合教育センターの事業に参加するなど、他の県立機関と連携事業も進めた。</li> </ul>

基礎データ

職員数 (学芸員数)	24 (11人)	総予算額 (人件費を除く)	80,902,000円	職員一人あたりの県民人口	30.0 万人
収蔵資料総点数	2,113箱	事業経費 (上記の内数)	10,408,000円	利用者一人あたりのコスト (平成24年度)	695円
平成24年度 収集資料点数	40箱	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	8,924,000円 (5,968,000円)	県民人口に対する利用者割合 (平成24年度)	1.57%

(注)平成25年4月1日現在の埼玉県推計人口は、7,207,748人である。

## 平成25年度 博物館施設 総合評価

施設名 さきたま史跡の博物館

	A評価	B評価	C評価
数値化共通項目	5		1
必須項目	9		
館別独自項目	4		
総合評価	96% 55点 ÷ (19項目 × 3点) × 100%		

### 自己評価総括

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C評価は、レファレンス対応件数のみで、あとはすべてA評価という好成績を上げることができた。24年度は「のぼうの城」効果もあって過去5年間で最高の入館者数を記録したが、総合評価96%は同等の成績で、十分健闘したと言える。</li> <li>・広報は、武蔵野銀行と芸術総合高校の協力によりPRビデオを制作・公開するなどパブリシティだけに頼らず、独自の広報手段を開拓することに取り組んだ。その成果が、JR東日本のトレインチャンネルに取り上げられるなどの成果となって現れた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国史跡「埼玉古墳群」を野外博物館と位置づけ、史跡と博物館が一体となった文化複合施設づくり構想のもと、博物館活動を展開していく必要がある。</li> <li>・現在の博物館評価の手法や基準を見直す時期に来ているように思う。例えば、入館者数の目標値設定についてみると、現在過去5年間の平均値を用いているが、博物館の設置目的、規模、予算、職員数、展示資料数、立地条件などをもとに、はたして目標値が妥当・適正なものか検討する必要がある。時間のかかる作業なので、計画的に進めたい。</li> </ul>
対応の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡保存整備計画をもとに、企画展や講座の開催など5か年の事業計画を作成した。</li> </ul>

## 評価委員総括

評価  
小委員  
コメント

・団体見学の定着や独自の広報手段の開拓等明るい展望が望めるのは喜ばしい。前回も要望したように、考古学専門館の特性を生かしたプログラム作りと新鮮で質の高い情報提供により努めてほしい。史跡と博物館が一体となった文化複合施設造り構想の具体的プランがどのようなものか説明がほしい。現在の時代遅れで老朽化のめだつ施設設備で、その構想が実現可能なのか疑問がある。今後の史跡保存整備計画に併せて、埼玉古代文化の発祥地に位置する博物館として、そろそろ抜本的な新施設造り計画を検討すべきと考える。

・独自の広報手段の開拓など積極的な広報活動が大きな宣伝効果を生んだことが注目される。また出前授業が10校で行われ好評であったことなど学校連携事業への積極的な取り組みも評価したい。今後、特別史跡指定へ向けた保存・整備計画とともに、学芸員の調査研究、情報発信が活発に行われることを望みたい。

・今年度より、65歳以上の入館料が有料化されたため、入館者数の減少が懸念された。しかしながら、入館者数は微減(3%)に止まり、観覧料・事業収入は昨年比14%(約130万円)増という結果となったことや、レファレンス件数の減少がやや気になるものの、マスコミへの発信件数も昨年比3倍以上と飛躍的に伸びていることは高く評価できる。調査研究を疎かにすることなく、学芸員の見える化事業や学校への出前事業などは、新たな入館者確保のためにも、引き続き着実に進めて欲しい。

必須項目チェックリスト(さきたま史跡の博物館)

項目	共通	チェック内容	チェック欄	備考欄
	個別			
資料の収集	共通	① 資料の収集方針、収集計画が策定されているか	○	H18保存整備計画策定
		② 収集方針、収集計画に基づき資料収集が行われているか	○	収集点数 60箱
		③ 特色あるコレクションの形成に努めているか	○	S43以来 継続調査
		④ 有形資料に限らず、映像資料や情報資料等も積極的に収集しているか	○	資料調査時に 適宜収集
		⑤ 収集した資料についての調査を実施し、調書を作成しているか	○	整理・報告書 作成
		⑥ 客観的な評価を経て購入・受け入れをしているか	×	評価委員会 設置検討中
		⑦ 資料台帳が整備されているか	○	収蔵資料管理 要項
		⑧ 収集資料を遅滞なく台帳に登録しているか	○	同上
		⑨ 収集資料ラベルが整備されているか	○	同上
		⑩ 収集資料ラベルが遅滞なく添付されているか	○	同上
		⑪ 資料の基本データが遅滞なく作成・管理されているか	○	同上
		⑫ 収集資料の殺虫処理・クリーニングが適切に行われているか	○	殺虫消毒実施 6/24~26
	個別 (自然)	① 登録分野に基づいた標本化をしているか		
		② 標本作製途中の資料の管理が適正に行われているか		
資料の保存管理	共通	① 収蔵・展示資料の保存管理に関する要項が整備されているか	○	収蔵資料管理 要項
		② 収蔵・展示資料の保存管理に関する要項が職員に周知され、それに基づいて資料の保存管理が実施されているか	○	学芸会議で 周知
		③ IPMの考えに基づいた資料の保存管理について、最新情報の収集や研修が行われているか	○	殺虫消毒時 実施
		④ 資料の収蔵環境は適正に確保されているか	○	温湿度管理
		⑤ 資料の定期的な点検清掃作業が行われているか	○	IPM実施
		⑥ 有害生物のモニタリングを実施し、その結果に基づき適切な対処をしているか	○	モニタリング 調査実施
		⑦ 資料の殺虫殺菌処理が適切に行われているか	○	殺虫消毒実施 6/24~26
		⑧ 温湿度の日常的な管理・記録化などが行われているか	○	データログで 情報収集
		⑨ 光量の管理が適切に行われているか	○	適正照明具 の使用
		⑩ 資料の所在確認作業を定期的に行っているか	○	管理日誌記 入
		⑪ 資料の劣化状況を定期的に確認しているか	○	IPM作業時 に確認
		⑫ 資料の修復や保存処理等の措置を計画的かつ必要に応じて行っているか	×	予算措置が 不可能
		⑬ 借用資料・寄託資料の更新手続きは適正に行われているか	○	承諾書等の 更新

項目	共通	チェック内容	チェック欄	備考欄
	個別			
資料の保存管理	共通	⑭ 資料のデータベースが整備されるとともに、情報が適宜更新されているか	○	館内検索システム
		⑮ 収蔵庫の入退室管理簿が整備されるとともに、適正に管理されているか	○	収蔵資料管理要項
		⑯ 収蔵資料の出納簿が整備されるとともに、適正に管理されているか	○	同上
		⑰ 収蔵庫の鍵が適正に管理されているか	○	同上
資料の活用	共通	① 収蔵資料の活用に関して規程・手続きを整備しているか	○	博物館条例・管理規則
		② 収蔵資料の活用に関する手続き等が公開されているか	○	HP等に掲載
		③ 収蔵資料を展示に活用しているか	○	利用点数 530点
		④ 収蔵資料の館外貸し出しに適切に対応しているか	○	貸出点数 2,230点
		⑤ 収蔵資料の特別利用(熟覧・撮影等)に適切に対応しているか	○	利用点数 11,784点
		⑥ 二次資料(写真等)の特別利用(原板使用等)に適切に対応しているか	○	利用点数 459点
		⑦ 資料のデータベースを公開しているか	○	25年3月 公開
		⑧ 公開したデータベースの情報が適宜更新されているか	×	
		⑨ 収蔵資料をホームページで公開しているか	○	ベストコレクションを紹介
		⑩ ホームページで公開している収蔵資料情報を適宜更新しているか	○	展示更新・館外貸出時に更新
常設展示	共通	① 展示関連のサイン・パネル等がわかりやすいか	○	情報量・文字サイズの適正化・写真等を活用
		② 展示室内に監視員や監視カメラ等を配置しているか	○	看視・警備員配置
		③ 展示情報が適宜修正・更新されているか	○	適宜実施
		④ 展示設備等が適宜点検されているか	○	開館中適宜巡視実施
		⑤ 展示ガイド等が作成されているか	○	ガイドブックさきたま
		⑥ 解説リーフレット等が作成されているか	○	6種類配布
		⑦ 展示解説等が適宜実施されているか	○	団体解説・ガイドツアー実施
		⑧ 観覧者アンケートを実施し、満足度等を測定しているか	○	アンケートの集計・分析
		⑨ アンケート結果に基づいた展示改善を実施しているか	○	分析御改善実施
		⑩ 県民に対し展示情報を適宜発信しているか	○	HP掲載・催物案内配布
学習支援事業	共通	① 事業情報が利用者に広く発信されているか	○	HP・彩の国だより・ミニコミ誌等
		② 多様な媒体による参加申し込みが方法が用意されているか	○	電話・電子申請・来館時等
		③ 多様な参加者を想定したプログラムが用意されているか	○	子ども・一般対象メニュー
		④ 参加者に対しボランティア等によるサポート体制が整備されているか	○	体験ボランティアの育成・配置

項目	共通	チェック内容	チェック欄	備考欄
	個別			
学習支援事業	共通	⑤ 事業実施にあたり参加者の安全が配慮されているか	○	説明・実施時中も注意喚起
		⑥ 参加者を対象としたアンケートを実施し、満足度等を測定しているか	○	参加者アンケート実施
		⑦ アンケート結果に基づいてプログラムの開発・改善がなされているか	○	アンケートの集計・分析
		⑧ 来館者用の図書・情報コーナーを設けているか	○	体験工房に常備
		⑨ 学芸員実習やインターンシップの学生を受け入れているか	○	学芸員実習8・インターンシップ他13人
県民との連携・協働	共通	① ボランティア制度を導入しているか	○	体験・解説・環境ボランティア36人
		② ボランティアの活動に関する規程が整備され、適切に運用されているか	○	ボランティア活動要項
		③ ボランティアの募集・認定の規程が整備され、適切に運用されているか	○	ボランティア設置要項
		④ ボランティアの研修システムが確立され、適切に実施されているか	○	研修6回実施
		⑤ ボランティアの活動成果が公開されているか	○	HP・館報等に掲載
		⑥ 友の会、NPO等が館事業に参加する機会を設けているか	○	秋祭りに地元NPO参加
		⑦ 地域社会で実施されるイベント等に館として積極的に関わっているか	○	さきたま火祭り・鉄剣マラソン
調査研究活動	共通	① 調査研究テーマを定めているか	○	年度当初にテーマ設定
		② 調査研究のための予算措置等に努力しているか	○	外部研究費等申請
		③ 調査研究活動を遂行するために必要な専門研修に参加しているか	○	遺跡等マネジメント研修会等参加
		④ 収集している資料に関連する専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	○	学会・研究会等に参加
		⑤ 資料の保存・管理、展示・教育普及、博物館経営等の博物館学分野での調査研究に取り組んでいるか	○	埼玉博連等研修会参加
		⑥ 地域貢献の視点から、館の所在する周辺地域や地域資料についての調査研究に取り組んでいるか	○	忍藩角場発掘調査
		⑦ 学芸員個々の専門分野についての調査研究等に取り組んでいるか	○	学会等参加
		⑧ 他館や他機関との間で共同研究を行っているか	○	埼玉考古学会・東北大学
		⑨ 調査研究の経過や成果を、さまざまな媒体・方法(著作物、展示、講演、研究発表等)で公開しているか	○	講座・企画展解説・紀要等
		⑩ 調査研究の成果を、社会貢献の視点から国、市町村、地域社会等にさまざまな形で還元しているか	○	7月遺跡報告会開催、12月現地説明会開催
施設・アメニティー	共通	① 施設の維持・改善についての計画を策定しているか	○	優先順位と予算で検討・実施
		② 展示室、収蔵庫などで耐震対策を行っているか	○	テグス・紐等で転落防止
		③ 危機管理マニュアルを整備しているか	○	危機管理マニュアルH24/4改定
		④ 防災・救急訓練等を定期的に行っているか	○	2月実施
		⑤ 休憩コーナー、授乳コーナー、喫茶コーナー等を設置または状況により対応しているか	○	休憩・喫茶コーナー設置
		⑥ レンタル用の車椅子、ベビーカーは整備されているか	○	車椅子4・ベビーカー1

項目	共通	チェック内容	チェック欄	備考欄	
	個別				
施設・アメニティー	共通	⑦	バリアフリー化など、改善必要箇所の把握のため自己点検を行っているか	○	施設・設備点検の実施
		⑧	一般駐車場と障害者用駐車場を区別しているか	○	障害者用8台
		⑨	手すり、点字ブロック、音声ガイダンスなどユニバーサルデザイン化への取り組みがなされているか	○	館内バリアフリー
		⑩	利用情報や館内サインはわかりやすく表示されているか	○	ピクトサインを活用
		⑪	館内サインの英文標記など国際化への対応はとられているか	○	入館のしおり英語版
		⑫	利用実態に応じて開館時間を弾力的に運用しているか	○	夏期開館時間延長
		⑬	便益施設として利用者数に見合った施設・設備が確保または状況に応じて対応しているか	○	大型バス33台・普通車295台
施設の利活	共通	①	施設利用のための要項、マニュアルが策定されているか	○	管理規則
		②	施設利用のための情報が公開されているか	○	HPに利用案内公開
		③	施設を一般の利用に提供しているか	○	会議室・講堂
		④	施設を学校団体等の利用に提供しているか	○	レストハウス
		⑤	施設が地域の賑わい創造や活性化に活用されているか	○	さきたま火祭り・鉄剣マラソン
		⑥	入館料割引、スタンプラリーなど、他施設・機関との連携を図っているか	○	行田市郷土博物館・古代運會館等
	個別(自然)	①	館所有の機器、機材を一般の利用に提供しているか		

## 独自項目チェックリスト(さきたま史跡の博物館)

項目	独自	チェック内容	チェック欄	備考欄
史跡整備事業の実施と活用	1	① 外部からの指導・助言を得ているか。	○	整備協議会 10/16開催
		② 全体的な整備計画を策定しているか。	○	H18基本計画 策定
		③ 情勢の変化に応じて、適宜見直しを図っているか。	○	整備協議会 へ諮問
		④ 地元との定期的な意見交換を図っているか。	○	古墳公園推 進協議会
		⑤ 担当職員を史跡関連の研修に参加させているか。	○	全国遺跡環境 整備会議・遺跡等 マネジメント研修
		⑥ 市町村等への整備研修会を開催し、技術や手法の普及を図っているか。	○	整備研修会 2/1開催
		⑦ 調査の現地見学会を実施しているか。	○	現地説明会 11/24開催
		⑧ 史跡や整備に関する講座・講演会を行っているか。	○	8回開催
		⑨ 整備事業の成果を各媒体を通じて広報しているか。	○	マスコミへ資 料提供
		⑩ 整備事業の成果を展示等を通じて公表しているか。	○	最新出土品 展等開催
拡張区公園整備と利・活用	2	① 全体的な整備計画を策定しているか。	○	都市整備部 策定
		② 公園利用についての諸規定があるか。	○	古墳公園利 用規定
		③ 公園が地域に利・活用されているか。	○	さきたま火祭 り等で利用
		④ 外部に利・活用を呼び掛けているか。	○	観光情報誌 等情報提供
		⑤ 担当職員を公園に関連する研修に参加させているか。	○	全国遺跡環 境整備会
考古体験事業の実施	3	① 考古の専門館としての体験メニューを複数用意しているか。	○	まが玉作り等 13メニュー
		② 安全に配慮しているか。	○	説明時に注 意喚起
		③ アンケートを実施して、参加者の意向を把握しているか。	○	事業毎に実 施
		④ 適宜改善を図っているか。	○	アンケートの 集計・分析
		⑤ 外部からの出張事業の要請にもこたえているか。	○	特別支援学 校で実施
		⑥ 様々な媒体を通じて情報を発信しているか。	○	情報発信56 件
企画展示事業の実施	4	① 考古の専門館としての企画展を実施しているか。	○	企画展2回開 催
		② 最新の考古資料を展示・公開しているか。	○	最新出土品 展開催
		③ 学芸員による展示解説を行っているか。	○	企画展開催 時毎日曜日
		④ 展示図録・ポスター・リーフレット等の紙媒体を作成しているか。	○	企画展毎に 作成
		⑤ 考古に関する講座・講演会・調査発表会等を開催しているか。	○	関連講座開 催
		⑥ アンケートを実施して、見学者の意向を把握しているか。	○	企画展毎に 実施
		⑦ 展示情報を様々な媒体を通じて発信しているか。	○	情報発信25 件